

令和8年度 西東京市立田無第二中学校 学校経営計画

学校名	西東京市立田無第二中学校	校長名	三沢 英俊
-----	--------------	-----	-------

教育理念及び教育目標

「いきいきさわやかな中学生」を本校の伝統と誇りとして守り続けるために、「誇れる上級生 学ぶ下級生」を常に掲げる。そして、変化が継続する複雑・多様なグローバル社会の中で、生徒が夢や希望を持ち、自らのよさ・強み【資質・能力】を発揮し、社会の関心のある領域で他者と協働し堂々と生きていけるよう、持続可能な共生社会の創り手となるその素地を引き出し培う。

＜教育目標＞

- 健康・・・健康な心身と自主独立の精神を養う・・・【心身】
- 誠実・・・誠実公正な態度と豊かな知性を身に付ける・・・【知】
- 敬愛・・・敬愛奉仕の精神に富んだ人間性を培う・・・【徳】

学校の特徴

- 1 伝統に培われた「地域からの信頼と母校愛」
- 2 自主・自立の精神に基づき主体的・意欲的に「生徒が自ら創り上げる学校」
- 3 一人ひとりを大切にする学級・学年創り・誰一人取り残さない特別支援教育の授実
- 4 「協働的な学習」と個別の学習支援による個に応じた「個別最適な学習」の一体的充実
- 5 充実した人生のための、体力増進、心身の健康など「健康教育の推進」
- 6 コミュニティスクールとして保護者地域・関係諸機関との「質の高い行動連携」

目指す学校像（学校像、生徒像、教師像）

【目指す学校像】「いきいきさわやか 田無二中」

「生徒の安心安全を保障し、生徒が明るく笑顔で学べる学校、地域の学校として、地域・保護者に信頼される学校」

- ①生徒にとって明るく楽しく、将来の【自主自立】に向けて、安心してチャレンジし、自らのよさ・強み発揮し相互に高め合える学校
- ②保護者・地域の方々が、未来を担う子供たちを通わせたいと思う信頼できる学校
- ③コミュニティスクールとして保護者・地域と共に歩み協働する学校

【目指す生徒像】

「他者を尊重し、自他の可能性を相互に高め合い、協働し、自ら学び、課題の探究図る生徒」

- ①自らの将来へ向け「夢と希望を持って努力し自らの可能性やよさを見出し高める」生徒
- ②自らを高めるために「正しい判断力と行動力がある」生徒
- ③他者に対して「豊かな人権意識を持ち、自己の責任を果たし他者と協働できる」生徒

【目指す教師像】

「豊かな人権感覚をもち、自らの多様な可能性やよさ・強みを発揮し、地域と協働し、組織的に教育活動に精進する教師」

- ①自己研鑽に努め、法令・服務規律を遵守する。
「生徒・保護者から信頼され、自らを高めながら生徒を成長させる」教師
- ②教育のプロとしての誇りをもつ
「生徒の意欲を育て成長を促す、よりよい指導方法を常に考え実行する」教師
- ③組織人としての自覚を持ち、生徒のためによりよい教育環境・学校づくりに邁進する
「組織の一員として協調し、かつ新取の精神をもって創造的な努力を惜しまない」教師

学校経営の目標

中期・短期経営目標（中間的課題）

- (1) 「基礎基本を活かし探究する力」の育成……【実社会に生きて働く学力】
- (2) 「豊かな感性・実践力」の育成
- (3) 「キャリア形成・夢の実現」の支援
- (4) 「やり抜く力・心身の健康・レジリエンス」の育成
- (5) 「規範意識の醸成、及び 持続可能な社会の形成を図る力」の育成
- (6) 「ライフワーク・バランス」の推進

具体的方策

（短期経営目標を達成するための学校の具体的な取組）

(1) 「基礎基本を活かし探究する力」の育成

- 1 誰も取り残さない授業 × 生徒主体 × 生きて働く基礎基本
生徒の視点から分りやすく誰もが参加できる授業課題解決や探究につながる基礎基本の確実な習得
- 2 良質なインプット×探究的な問い × 深い理解・思考 × 豊かなアウトプット
生徒の自ら学ぶ力を引き出す豊かな表現活動を重視
- 3 自らの問いを探究 × 自己調整学習 × 非認知能力
生徒が自ら課題を設定し解決を図る 課題解決学習
- 4 ICT活用 × 個別最適な学び × 協働的な学び
主体的・対話的で深い学びの実現、自ら学びを選択
- 5 指導と評価の一体化 × 形成的評価
- 6 校内研修 × 授業改善 × 組織的推進

(2) 「豊かな感性・実践力」の育成

- 1 深い生徒理解 × 多様性尊重 × 人権感覚
自己理解・他者理解を深め、多様性を認め合い、豊かな人権感覚・感性・実践力を培う。
- 2 インクルーシブ教育 × 個別最適な学び × 協働的な学び × 合理的配慮
誰一人取り残さない教育を推進し、居場所づくりと不登校の未然防止・個別支援の充実
- 3 シティズンシップ × いじめ防止 × 早期発見・即時対応体制
差別や偏見のない共生社会の担い手を育成し、いじめ・虐待の未然防止と組織的な早期発見・即時対応を図る。

(3) 「キャリア形成・夢の実現」の支援

- 1 自己理解 × 自己調整学習 × 強みの発揮
夢を描き、自己の強み・可能性を自覚・発揮できる力を育成
- 2 探究的な学び × 実社会との接続 × 学びの価値付け
「なぜ学ぶか」を実感し自己の将来と学びを結び付ける力を育成
- 3 小中連携 × キャリア・パスポート × 振り返りと見通し
学びの履歴の可視化、主体的なキャリア形成
- 4 地域連携 × 多様な生き方 × 社会参画意識

(4) 「やり抜く力・心身の健康・レジリエンス」の育成

- 1 自己調整学習 × レジリエンス
試行錯誤を重ね、粘り強く取り組む力を育成
- 2 主体的活動 × 協働性 × 自己有用感
主体的に企画・運営し、多様な他者と協働し、やり遂げる経験より自己有用感を高める。
- 3 基礎体力向上 × 健康の自己管理 × ウェルビーイング
自己の健康を管理し幸福度を高める力を育成

(5) 「規範意識の醸成、及び持続可能な社会の形成を図る力」の育成

- 1 対話的合意形成 × 多様性尊重 × 自治的活動
合意形成 や 意思決定 を経験し、ルールを創り出す力 と、民主的社会に参画する力 を育成
- 2 探究学習 × 地域連携 × シティズンシップ
「西東京ふるさと探究学習」を核に、体験活動を通して地域課題を探究し、持続可能な社会の担い手として主体的に行動する力を育成

(6) 「ライフワーク・バランス」の推進

- 1 教員の時間外在校時間（1 か月） 4 5 時間以下
- 2 教員の年休取得日数（1 年間）1 0 日以上